

交通安全協会の呼びかけによる西入間交通安全協会の交通安全運動



交通安全協会の呼びかけによる西入間交通安全協会の交通安全運動

4月6日から15日までの「春の全国交通安全運動」期間にあわせ、4月10日、今宿交差点で西入間交通安全協会鳩山支部、鳩山町交通安全母の会、西入間地区安全運転管理者協会などの皆さんによる街頭啓発活動が行われました。運動における町の重点目標は、『働き盛りの人を交通事故から守る』『子どもと高齢者の安全指導』『飲酒運転根絶』です。会員の皆さんは、ドライバーや歩行者にパンフレットなどを手渡し、安全運転を呼びかけました。

講演する村上 一幸氏



地域ブランド戦略の秘訣を学んだ 6次産業化に向けた講演会

3月24日、役場会議室で「6次産業化に向けた講演会」(町産業振興課主催)が行われ、現在策定中の6次産業化に向けた推進計画の策定検討委員や、「あんずの里づくりプロジェクト」ボランティア委員など、6次産業に関心を寄せる方々が参加しました。「地域資源を活かした鳩山ブランドの構築－事業計画と商品戦略－」と題された講演会では、食の6次産業化プロデューサー(レベル4)※で中小企業診断士の村上 一幸氏から、地域ブランドやヒット商品を生み出す考え方などを学びました。

※食の6次産業化に関する経験や実績があり、事業化、マネジメント、コンサルティングなどの成果を出している。

全6校の吹奏楽部がハーモニーを奏でた 第3回スプリングジョイントコンサートin鳩山

町文化会館で3月21日、「第3回スプリングジョイントコンサートin鳩山」が開催され、鳩山中学校を含む中学校5校と、招待校である県立滑川総合高等学校の全6校の吹奏楽部が会場にハーモニーを響かせました。コンサートの最後には、全校生徒により「星条旗よ永遠なれ」が合同演奏されました。

なお、参加校は次のとおりです。毛呂山町立川角中学校、川越市立野田中学校、東松山市立南中学校、坂戸市立千代田中学校、鳩山町立鳩山中学校、県立滑川総合高等学校(演奏順)



合同演奏を行う生徒たち

延べ4回に渡り高齢者が生涯学習 寿大学ステージ発表会・閉講式

学習意欲の高い高齢者がいきいきと充実した生活ができるよう、生涯学習を推進する目的で開催している寿大学の閉講式が、3月19日、町文化会館で行われ、192人が修了証書を受け取りました。

平成25年度は「防災・防火講演会」「町外研修」「人権問題を考える町民の集い」を実施し、最終日となったこの日は、式の前に「ステージ発表会」が行われ、計16組(個人を含む)がカラオケや舞踊、詩吟を発表し、参加者を魅了しました。



ステージ発表会を行う上熊井長寿会の皆さん

希望を胸に 新たな学校生活がスタート 町内の小・中学校・幼稚園で入学(園)式

町内小・中学校で4月8日入学式が、9日には町立幼稚園で入園式が行われ、児童・生徒、園児らが新たな生活をスタートさせました。本年度の入学児童数は、亀井小学校で12人、今宿小学校で32人、鳩山小学校で32人、鳩山中学校で108人、鳩山幼稚園の入園児数は22人でした。

亀井小学校では、小峰 洋校長が学校生活での約束ごととして『一人でもできることをたくさん増やそう』と呼びかけ、「困っているときは先生や友だち、お兄さんお姉さんが助けてくれるので、一日も早く学校生活に慣れて、小学校を大好きになりましょう」と、新1年生に優しく語りかけました。在校生からあいさつと合唱による歓迎を受けた新1年生は、式後に教室で先生の話真剣に聞き、配られたものを真新しいランドセルに一所懸命入れていました。



ランドセルに配布物を入れる新1年生



6年生とともに入場する新1年生(亀井小学校)



子どもたちには、友だちや、お兄さんお姉さんと一緒に、とにかく楽しく学校生活を送ってほしいです。また、先生の言うことをよく聞いて、勉強もがんばってほしいです。

(左から)寺門 光輝さん、姫織さん、愛さん

策定委員会が「鳩山町地域エネルギービジョン(案)」を提言

町長から委嘱を受けた委員により、平成25年10月から検討を重ねてきた「鳩山町地域エネルギービジョン(案)」が、3月24日に石井委員長から小峰町長へ手渡されました。

策定委員会は、町のエネルギー政策の基本姿勢や将来像と、今後の省エネルギー化や再生可能エネルギーの導入・利用拡大などへの取り組みについて協議してきました。今後、町ではこの提言内容を踏まえ、地域エネルギービジョンを策定していきます。



石井委員長(右)から手渡された提言書を手にする小峰町長



手話で感想を話す受講生

13人が修了し、手話技術を習得 手話講習会(入門編)閉講式

聴覚障がい者とのコミュニケーションや障がいへの理解を深めるため、ニュータウンふくしプラザ(松ヶ丘)で12月～3月の4か月に渡って開催された「手話講習会(入門編)」(町健康福祉課共催)が、3月20日修了式を迎え、受講生13人が修了証書を受け取りました。

最終日となった修了式では、受講生全員が手話を使って、「大変だったが、先生や他の受講生との交流のおかげで楽しく手話を覚えることができた」「これからは聴覚障がい者の方と手話で話しをしてみたい」などと、充実した表情で受講の感想を述べていました。